



1-1, スイートピーとフリージアと少女 1963年

信州花フェスタ2019開催記念 ちひろ・花とともに生きて

2019年5月17日(金)～7月16日(火)

花を愛し、花に囲まれ、花に心を寄せた画家 いわさきちひろ

「子どもも花も大好き」と語っていたいわさきちひろ。花は生涯を通じてちひろが描き続けたテーマであり、残された作品には80種を超える花々が描かれています。

その暮らしのなかには、常に花がありました。自宅の庭で育てていた四季折々の花を愛でたり、食卓のグラスに花を飾ったり、黒姫高原の山荘では、両手いっぱいにつんできた花々で部屋を彩ることもありました。愛用の帽子やスカーフにも可憐な花々の模様が踊っています。束の間の時間を懸命に咲く花は、ちひろにとって子どもと同様にいつくしむ対象であり、表現においては“いのち”や“心”の化身でもあったのでしょうか。ディテールにとらわれることなく、自由な形で花の存在そのものを作品に映し出しています。

本展では、「花のある暮らし」や「花と子ども」などをテーマに作品や資料を展示し、ちひろの表現と花との関わりを掘り下げます。花とともに生き、「花と子どもの画家」と称されたちひろが描き出した花々の魅力をご覧ください。



1-2, 春の庭 1969年



1-3, スイートピーの花とふたり 「ふたりのぶどうかい」(講談社)より 1968年

展覧会名	信州花フェスタ2019開催記念 ちひろ・花とともに生きて
会期	2019年5月17日(金)～7月16日(火) ○開館時間=9:00～17:00 ○休館日=第4水曜日
会場	安曇野ちひろ美術館 展示室1・2
料金	大人800円/高校生以下無料 団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は700円/障害者手帳ご提示の方は400円、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円
主催	ちひろ美術館、信濃毎日新聞社
特別協賛	株式会社ジャクエツ

展覧会の見どころ 画家ちひろを代表する「花と子ども」

花に子どもの心を託したり、子どもに花の心を語らせたり——。繊細な心情を呼応させ、いのちの輝きを映し出したちひろの真骨頂ともいえる「花と子ども」の作品群を紹介します。

花々に囲まれる空間

バラやスイートピー、チューリップ、ひなげし——。ちひろが花だけを画面の中心に据えて描いた作品も多くあり、そこには花びらの質感や香りまでもが映しこまれています。展示の始まりには、花の肖像を集めて一堂に展示する空間が迎えます。

花のある暮らしから生まれる絵

季節の花々を育てていた「庭」、花々と瞳を交わしながら創作していた「アトリエ」、自然のなかに身を置き野の花と語らった「黒姫山荘」など、花とともに過ごした暮らしとそこから生まれた作品も紹介します。

館内にも花々が踊る

カフェやオープンスペースに生花を生けるなど、展示室だけでなく館内随所に花が踊ります。

出展作品数

約80点

主な出展作品

スイートピーとフリージアと少女 1963年／バラにかくれる子ども 1972年／チューリップのなかのあかちゃん 1971年／春の庭 1969年／『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)より 1973年／『ふたりのぶとうかい』(講談社)より 1968年／『あかまんまとうげ』(童心社)より 1972年 ほか

関連イベント

●花のドレスコード特典

会期中、花をモチーフにしたものを身につけて来館された方には、もれなく、ちひろの花のポストカード(非売品)をプレゼントします。

●ちひろの花めぐり

日時：5月19日(日) 会場：安曇野ちひろ美術館～安曇野ちひろ公園
参加費：無料(入館料のみ) 申し込み：要事前予約(HP、TELにて)

●ワークショップ 花を楽しむ

日時：6月1日(土) 講師：木下いずみ(hanaizumi主宰)
申し込み：要事前予約(HP、TELにて)

●ギャラリートーク

日時：毎月第2・4土曜日 14:00～14:30
会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1・2 参加費：無料(入館料のみ)
申し込み：不要(参加自由)

関連展示

信州花フェスタ2019 ～北アルプスの贈りもの～(第36回全国都市緑化信州フェア)

日時：4月25日(木)～6月16日(日) 会場：長野県松本平広域公園 ほか <https://shinshu-hanafesta2019.jp/>
5/25(土)～6/16(日)みて、ふれて、つくって「いわさきちひろ・花とあそびの庭」がメイン会場で開催されます

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。 ※掲載紙/誌をご送付ください。



1-4, チューリップのなかのあかちゃん 1971年



1-5, 「はらりとおちた」 1972年



1-6, 薔薇 「赤い鳥名作選4」(中央公論社)より 1973年

ちひろ美術館コレクション展 列車でいこう！

2019年5月17日(金)～7月16日(火)



2-1, 西村繁男 『がたごとがたごと』(童心社)より 1999年

汽車から地下鉄まで 列車あれこれ

列車を利用する人と愛する人は、時代が変わっても国を超えて存在し、列車は絵本にも、ときと場所を超えて繰り返し登場します。本展では、当館のコレクション作品のなかから、絵本原画に描かれた列車を紹介します。今はなかなか見ることのできなくなった蒸気機関車から、本当にあればおもしろい不思議な列車まで、普段目にする列車とはどこか違うかもしれませんが、私たちの想像力を乗せて運んで行ってくれるでしょう。「汽車」「路面列車から地下鉄まで」「不思議な電車たち」「がたごとがたごと」の4章に分けて作品を紹介するほか、展示室内や図書室には、列車を描いた絵本を自由に読める場所も設けます。

また、松川村・安曇野ちひろ公園のトットちゃん広場にある電車の図書室、教室にもスポットをあて、列車の魅力に注目します。



2-2, アドルフ・ボルン(チェコ) 皇帝フランツ・ヨーゼフと宮廷列車 2000年



2-3, 岡本帰一 汽車 1930年頃

展覧会名 ちひろ美術館コレクション展 列車でいこう！

会期 2019年5月17日(金)～7月16日(火)
○開館時間=9:00～17:00
○休館日=第4水曜日

会場 安曇野ちひろ美術館 展示室3・4

料金 大人800円/高校生以下無料
団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は700円/障害者手帳ご提示の方は400円、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円

主催 ちひろ美術館、信濃毎日新聞社

特別協賛 株式会社ジャクエツ

協力 公益財団法人東日本鉄道文化財団 鉄道博物館(予定)

展示会の見どころ 電車絵本の傑作『がたごとがたごと』全原画を展示

西村繁男による絵本『がたごとがたごと』(童心社/1999年)は、なんの変哲もない電車が駅に止まり、お客たちが乗り、次の駅で降りる、その繰り返しを描いた本です。一見普通の電車の絵本に見えながら、よくよく見ると……! 全場面の原画を一堂に初めて展示し、その魅力を紹介します。

列車の絵本出発進行

古今東西の電車をテーマにした絵本を集めてみました。どうぞ手に取ってお読みください。あなたの知っている絵本はあるでしょうか? (展示室、図書室、トットちゃん広場・電車の図書室にて開催)

ほかの乗りものもどうぞ

列車に飽きたら別の乗りものはいかがでしょう。コレクション作品のなかから、列車以外の乗りものであるバス、船、飛行機などの描かれた絵本原画を集め、展示室3で展示します。国を超えて多彩な乗りものの数々をお楽しみください。

出展作品数 約70点

主な出展作品 岡本帰一 汽車 1930年頃/キム・ドンソン(韓国)『かあさんまだかな』(フレーベル館)より 2004年/シン・ドンジュン(韓国)『地下鉄は走ってくる』より 2004年/西村繁男『がたごとがたごと』(童心社)より 1999年/谷内こうた『なつのあさ』(至光社)より 1970年/アドルフ・ポルン(チェコ) イスタンブールのビエール・ロチ 1990年 ほか

関連イベント

●電車好き集まれ! 電車の専門家に聞こう

日時: 6月16日(日) 13:30~(予定)

講師: 鉄道博物館 学芸員 会場: 安曇野ちひろ美術館 多目的ギャラリー 参加費: 無料(入館料のみ) 申し込み: 要事前予約 (HP、TELにて)

●電車の教室でおはなしの会

日時: 6月15日(土)、7月6日(土) 各日 11:00~

会場: 安曇野ちひろ公園・トットちゃん広場 電車の教室 参加費: 無料 申し込み: 不要(参加自由)

●ギャラリートーク

日時: 毎月第2・4土曜日 14:30~15:00 会場: 安曇野ちひろ美術館 展示室3・4 参加費: 無料(入館料のみ) 申し込み: 不要(参加自由)

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。 ※掲載紙/誌をご送付ください。



2-4, キム・ドンソン(韓国) 『かあさんまだかな』(フレーベル館)より 2004年



2-5, 谷内こうた 『なつのあさ』(至光社)より 1970年



2-6, シン・ドンジュン(韓国) 『地下鉄は走ってくる』より 2004年

信州花フェスタ 2019 ～北アルプスの贈りもの～ (第36回 全国都市緑化信州フェア)

みて、ふれて、つくって 「いわさきちひろ・花とあそびの庭」

5月25日(土)～6月16日(日) **入場無料**

協力：公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

会場 メイン会場 長野県松本平広域公園(信州スカイパーク)
やまびこドーム内

信州の自然を愛し、花と子どもを描き続けた絵本画家いわさきちひろの作品と、花や緑がコラボレートした体験型の企画展。「はなぐるま」をはじめ、ちひろの描いた“花”が印象的な作品を立体的に再現します。会期中は水彩技法ワークショップの開催も予定。ここでしか体験できないちひろの絵本の世界をぜひお楽しみください。



はなぐるま 1967年



ブース全景イメージ

展示関連企画

花のドレスコード特典

会期中、花をモチーフにしたものを身につけて来館された方には、もれなく、ちひろの花のポストカード(非売品)をプレゼントします。

展示関連イベント

ちひろの花めぐり

5月19日(日)

会場：安曇野ちひろ美術館～安曇野ちひろ公園 参加費：無料(入館料のみ)
申し込み：要事前予約(HP、TELにて)

ワークショップ 花を楽しむ

6月1日(土)

講師：木下いずみ(hanaizumi主宰) 申し込み：要事前予約(HP、TELにて)

電車の教室でおはなしの会

6月15日(土)、7月6日(土) 各日11:00～

会場：安曇野ちひろ公園・トットちゃん広場 電車の教室 参加費：無料
申し込み：不要(参加自由)

電車好き集まれ！ 電車の専門家に聞こう

6月9日(日) 13:30～14:30

講師：鉄道博物館 学芸員 参加費：無料(入館料のみ)
申し込み：要事前予約(HP、TELにて)

国際博物館の日 5月18日(土) 入館無料

次回展のご案内

7月20日(土)～9月30日(月)

- ちひろ・アンデルセンの世界
- <企画展>童画の国のパイオニアたち
—日本童画家協会の7人—
- ちひろ美術館コレクション展 世界のおはなし

ちひろが愛した安曇野・まつかわ

北アルプスパノラマウォーク

5月25日(土) 9:00～13:00

主催：松川村観光協会 協力：安曇野ちひろ美術館

ちひろが松川村の風景を描いたスケッチポイントや、村内に点在する神秘的な遺跡などをめぐるウォーキングイベントです。松川村の地元ガイドによる案内や、美術館スタッフによる解説のほか、りんごジュースや軽い昼食のふるまいなど、村民によるおもてなしもあります。北アルプス連峰が水田に映り込んだ絶景を望む8kmのウォーキングコースをお楽しみください。

参加費：ひとり1000円(保険料含む) 定員：80名
申し込み：要事前予約(松川村観光協会TEL.0261-62-6930にて、5月17日〆切予定)



©松川村

近隣市町村入館無料デー

日ごろの感謝を込めて、長野県および美術館近くの市町村にお住まいのみなさまに、入館無料でお楽しみいただけるご優待日です。

6月9日(日) 池田町・生坂村民入館無料デー

6月16日(日) 大町市民入館無料デー

6月23日(日) 松本市民入館無料デー

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示の見どころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14:00～ちひろ展/14:30～コレクション展
参加費：無料(入館料のみ) 申し込み：不要(参加自由)

●おはなしの会

季節や展示にあわせた絵本の読み聞かせや素話を、親子でお楽しみください。

日時：毎月第2・4土曜日 11:00～11:30
参加費：無料(入館料のみ) 申し込み：不要(参加自由)

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp

お問い合わせ 安曇野ちひろ美術館 広報担当 高津・宗像・田邊・畔柳
〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24
TEL.0261-62-0772 FAX 0261-62-0774
E-mail:apublicity@chihiro.or.jp